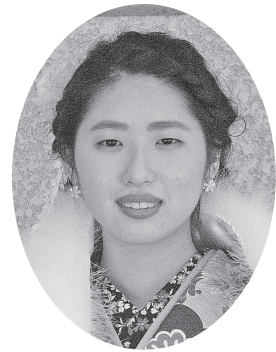


「新成人としての決意」  
副実行委員長 渡辺絵里菜



この度、無事に成人式を迎えられたことは、これまで私を支えてくれた家族、友人をはじめ、今までお世話になった全ての方々のおかげであり心より感謝申し上げます。

成人式を迎え、私自身の20年間を振り返ってみますと、故郷である小諸の地に生まれ、勉強に励んだ時間が、私にとってかけがえのないものであったと実感しています。

私の新成人としての決意は自分の行動に責任を持ち、自立した大人になることです。私は、実家暮らしをしています。日々の生活の中で両親に依存しているところがあります。成人を迎えた今、一人の大人として両親に頼らず、自分一人の力で物事を行っていきたく思います。また一つ一つの行動に責任を持ち

— 成人式実行委員の皆さんをご紹介します —



- 小山田 夏理
  - 小林 優沙
  - 佐藤 佑
  - 高橋 莉菜
  - 羽田 賢人
  - 林 亜香里
  - 前島 一也
  - 宮坂 菜美
  - 望月 京平
  - 柳澤 純加
  - 渡辺 絵理
- (五十音順)

他人に迷惑をかけず、自覚を持っていきたくと思います。最後にになりますが、私は新成人としてはまだまだ未熟者であり、この先の人生でつまずき挫けることがあるかもしれません。そんな時、どうか皆様からの厳しく温かいご指導をよろしく願っています。



第2回公民館関係役員研修会

11月15日(火)、公民館関係役員研修会が行われました。今回は「地域における市民自治の取り組みの可能性と課題」をテーマに都留文化大学非常勤講師・協同総合研究所理事の田中夏子氏が講演を行っていただきました。

まず、社会政策や福祉政策が「地域化」している動向についてお話してくださいました。今までは高齢者や障がい者などに対する支援は制度ごと管理・支援されていましたが、今後は対象者にかかわらず本人のニーズを起点に支援を行うとし、包括的、総合的に支援する仕組みを構築する方向に進んでおり、今後は地域で受け止めていかなければならなくなるそうです。次に地域活動が活発な3市町の事例を教えてくださいました。

1つ目は長野県木曾町の事例です。木曾町は市町村合併による旧町村の過疎化を回避するために地域自治組織が設置されました。「くらしづくり部会」などの各種部会があ

り、住民が自主的に様々な活動を展開しているそうです。

次に、島根県雲南市の事例です。こちらも合併を機に地域自治組織が設置されました。小規模多機能自治という考え方で顔の見える地域的な関係を深め、複数の機能を地域自治組織で行っているそうです。そして、大分県臼杵市の事例です。臼杵市は林業採算性の悪化、荒廃森林の増加などによって深刻な水不足を抱えていました。しかし、森林所有者と地域、行政が協力して食・農・資源林の保全を行いこれによって働きがいがあり地域が目標としていたことと直結する仕事が生じたそうです。

これらの市町は合併や水不足など窮地に立たされて地域活動が活発になったそうです。小諸市も人口減少、高齢化による過疎化が徐々に迫ってきています。危機に陥る前に地域住民同士協力し合って支援していくことが大切だと感じました。

編集委員 木内 那穂